

源義経公東下り行列 歴代主要役出演者

回	年度	源義経公	藤原秀衡公	北の方	武蔵坊弁慶
1	1955	南 洞 頼 教	三 橋 石 雄	三 橋 寿 恵	佐々木 良 作
2	1956	千 葉 仁 一	本 間 真 教	上 野 桂 子	佐々木 良 秀
3	1957	小 野 不 二 朗	千 葉 雄 亮	佐々木 栄 子	佐々木 良 作
4	1959	佐々木 賢 宥	本 間 真 教	菅 野 洋 子	佐々木 良 作
5	1961	菅 原 信 夫	佐々木 実 高	三 浦 階 子	佐々木 良 作
6	1963	千 葉 幸 四 郎	佐々木 智 秀	二 宮 清 子	佐々木 良 作
7	1966	北 嶺 澄 仁	菅 原 清 蔵	及 川 和 恵	佐々木 良 作
8	1968	千 葉 庄 悦	千 田 慶 蔵	千 葉 す み 子	佐々木 良 作
9	1969	佐々木 慎 宥	松 岡 淳 七	佐々木 真 佐 恵	佐々木 良 作
10	1970	伊 藤 孝 雄	西 洞 一 郎	佐々木 東 子	佐々木 良 作
11	1971	小松代 睦 雄	佐々木 良 作	菅 原 り つ 子	千 田 秀 松
12	1972	大 船 渡	田 野 崎 文 人	浅 利 京 子	岩 淵 忠 男
13	1973	志 垣 太 郎	小 野 寺 喜 得	南 洞 や す 子	梨 子 洋 一
14	1974	花 丘 圭 二	菅 原 栄 治	菅 原 祥 子	新 宅 強 一
15	1975	三ツ木 清 隆	橋 本 八 百 二	竹 本 良 子	鍵 市 信 夫
16	1976	新 沼 謙 治	泉 信 太 郎	鈴 木 弘 子	石 原 隆 雄
17	1977	佐 藤 佑 介	小 野 寺 勇 基	鈴 木 由 美 子	荒 井 善 一
18	1978	阿 部 周 二	蜂 谷 寛	佐々木 紀 久 子	高 橋 澄
19	1979	加 納 竜	小 野 寺 文 雄	達 谷 窟 尚 子	玉 置 雅 男
20	1980	国 広 富 之	小 関 和 一	上 野 ひ ろ 子	千 葉 信 夫
21	1981	広 岡 瞬	東 海 林 喜 代 太 郎	千 葉 裕 子	菅 原 正
22	1982	井 上 純 一	高 橋 八 介	高 橋 容 子	新 橋 勝 郎
23	1983	新 田 純 一	三 好 京 三	伊 藤 幸 江	糸 川 清 一 郎
24	1984	松 田 洋 治	及 川 舜 一	本 間 公 江	新 井 田 剛 芳
25	1985	三 波 豊 和	八 重 樫 金 十 郎	穂 積 佳 穂 子	阿 部 清
26	1986	川 野 太 郎	中 村 直	千 葉 恵 美 子	柏 木 多 美 男
27	1987	村 上 弘 明	小 野 尚 志	佐々木 郁 代	佐々木 一 嘉
28	1988	橋 爪 淳	佐々木 秀 一	中 務 宏 美	工 藤 典 男
29	1989	坂 上 忍	小 野 寺 軍 蔵	高 田 千 晶	沢 松 治
30	1990	新 藤 栄 作	久 慈 吉 野 右 衛 門	宮 沢 悌 子	里 見 庫 男
31	1991	山 本 陽 一	河 野 逸 平	鈴 木 比 呂 子	細 川 亨
32	1992	倉 田 て つ を	大 治 浩 之 輔	鈴 木 久 美 子	須 田 利 治
33	1993	稲 垣 吾 郎	岩 城 光 英	千 葉 由 美 子	竹 田 高 利
34	1994	林 泰 文	及 川 勉	舟 生 由 美 子	阿 部 洋 司
35	1995	宮 下 直 樹	本 木 正 幸	瀬 川 直 子	阿 部 正 人
36	1996	池 谷 幸 雄	望 月 茂	島 山 深 雪	小 岩 謙 一
37	1997	羽 賀 研 二	堀 口 治 五 右 衛 門	関 口 智 子	佐々木 邦 夫
38	1998	野々村 真	穂 積 昭 慈	朝 田 美 佳	松 井 角 平
39	1999	藤 原 竜 也	小 野 寺 龍 巳	千 葉 奈 津 子	佐 藤 一 巳
40	2000	妻 夫 木 聡	村 田 源 一 朗	原 田 久 美 子	宇 部 和 彦
41	2001	山 崎 裕 太	菊 池 昭 雄	千 葉 奈 緒 実	佐 藤 勝 二
42	2002	斉 藤 祥 太	中 野 士 朗	永 昌 幸 恵	鈴 木 喜 則
43	2003	須 賀 貴 匡	増 田 寛 也	立 山 詔 子	舞 石 吉 則
44	2004	石 垣 佑 磨	東 島 末 起	関 宮 広 恵	五 嶋 徳 行
45	2005	滝 沢 秀 明	永 野 勝 美	浜 口 順 子	大 桃 大 介
46	2006	賀 集 利 樹	内 田 鉄 夫	貞 平 麻 衣 子	矢 萩 幸 雄
47	2007	中 尾 明 慶	佐 藤 義 正	南 洞 星 子	三 浦 大
48	2008	木 村 了	小 塚 逸 夫	小 岩 愛 真	高 橋 富 雄
49	2009	五十嵐 隼 士	大 石 満 雄	佐々木 彩 衣	佐々木 親 憲
50	2010	内 田 朝 陽	宇 部 貞 宏	千 葉 彩 水	野 生 一
51	2012	溝 端 淳 平	達 増 拓 也	千 葉 恵 泉	清 一
52	2013	平 岡 祐 太	田 沼 征 彦	八 重 樫 沙 千	村 上 耕 一
53	2014	山 本 裕 典	勝 部 修	千 葉 亜 也	千 葉 智 允
54	2015	吉 沢 亮	高 橋 真 裕	二 宮 彩 乃	小 山 裕 貴
55	2016	高 杉 真 宙	山 崎 孝 明	小 野 寺 香 菜	泉 清
56	2017	横 浜 流 星	藤 澤 利 憲	蕎 麦 田 さ や か	乳 井 隆 明

※敬称略、出演当時の姓名を記載。  
※第2回は藤原二代基衡公八百年祭のため2日間開催



武蔵坊弁慶に扮する佐々木良作さん(1956年)



初めて製作された御所車(1956年)  
※御所車は牛車とも呼ばれ、平安時代の身分の高い人の乗り物



初めて御所車が披露された第2回の行列(1956年)

＜源義経公東下り行列とは？＞

毎年5月1日から5日までの5日間開催される「春の藤原まつり」のメイン行事。行列に出演する義経公・秀衡公・北の方などには、それぞれの役柄に合った人が選ばれ、馬や御所車に乗って、山伏姿の弁慶ら武者一行・侍女たちを従えて、毛越寺から中尊寺までを練り歩く。

まで寸法や部品の形を勉強しに行き、56年に町内の職人たちで初めて製作され、より平安時代に近い雰囲気、行列となったと力をこめる。義経公役にタレントが出演し始めると行列の認知度はさらに上がり、より多くの観光客が訪れるようになった。行列を続けていく上で時代考証は大事なことで、庄悦さんは話す。「吾妻鏡や義経記などを基に考究し、試行錯誤して現在の形となりました。なぜ平泉で開催されるのか。その意義を感じてほしい」と熱い思いを強調する。

特集 受け継がれる魂 —源義経公東下り行列—

みちのくの古都・平泉を舞台に繰り広げられる「春の藤原まつり」。中でもメイン行事である「源義経公東下り行列」は、その平安絵巻さながらの華やかな時代行列でこれまで多くの人々の心を魅了してきた。今号の特集では、長い年月をかけ、たくさんの人々が「熱い思い」を重ねてきた源義経公東下り行列の歴史と現状に迫る。



第1回源義経公東下り行列の様子。秀衡公役の三橋石雄さんは御所車ではなく騎馬で町内を練り歩いた(1955年)

第1章

熱意

故事を忠実に再現した行列

行列を見るために20万人を超える人々が平泉町を訪れるなど、町を代表する行事として定着した源義経公東下り行列。開催されたきっかけなど、行列の歴史について源義経公東下り保存会会長の千葉庄悦さんに話を聞いた。

「行列が始まったきっかけは1956年に開催された藤原二代基衡公八百年祭です。八百年祭開催時に平泉に相応しいものを協賛行事として実施したいという思いから、兄頼朝に追われて平泉に落ちのびた義経公主従を奥州藤原氏三代秀衡公が温かく出迎え、民衆も歓喜したという故事を再現することが決定しました。そしてその前年に試みとして第1回源義経公東下り行列が開催され、今年で56回目を数えます」と庄悦さんは語る。平安時代を思わせる鮮やかな装束や道具などが数多くある中で、特に秀衡公や北の方に乗る御所車はとても珍しいものだという。「1回目は御所車がなかったため、秀衡公や北の方は騎馬にまたがり町内を練り歩いていました。その後京都



ちば しょうえつ 千葉 庄悦さん  
源義経公東下り保存会 会長

《Profile》1942年生まれ。学生時代から源義経公東下り行列の手伝いをし、63年に同保存会に入会。68年には源義経公役で行列に参加した経験を持つ。会長として同保存会の今後を見据える。